

桜ヶ丘 e-ポートフォリオ 操作説明書



鹿児島大学

大学院医歯学総合研究科 FD 委員会

大学院医歯学総合研究科

医歯学教育開発センター

目次

1. 概要	3
1-1. ポートフォリオとは	3
1-2. 「桜ヶ丘 e・ポートフォリオ」の特徴	3
2. ログイン方法	4
2-1. キャンパスネットから利用する	4
2-2. 病院情報システム「THINK」から利用する。	5
3. 学生が利用できる機能について	7
3-2. 個人情報の設定とプロフィール情報の登録	8
3-3. 教育到達目標の達成状況の確認画面	10
3-4. 自己学習目標の管理	11
3-5. (授業の) ふりかえり	13
3-6. 学習成果物の保存	15
3-7. 「アクセスキー」の開示について	16
3-8. 症例報告機能	17
3-8-1. 症例の登録	17
3-8-2. 症例報告の確認	18
3-9. 臨床評価の登録 (学生)	20
4. 指導者が利用できる機能について	22
4-1. 指導者トップメニュー	22
4-2. 担当授業科目のふりかえり評価	22
4-3. 助言指導学生の管理・評価 (アクセスキーを学生から提示されたら)	24
4-4. 症例報告の閲覧 (指導者) について	26
4-5. 臨床評価画面	27
4-6. 臨床評価の分析	29
4-7. 教育到達目標の達成度の総合評価機能 (運用方法については未定です。)	30
5. お問い合わせ	32

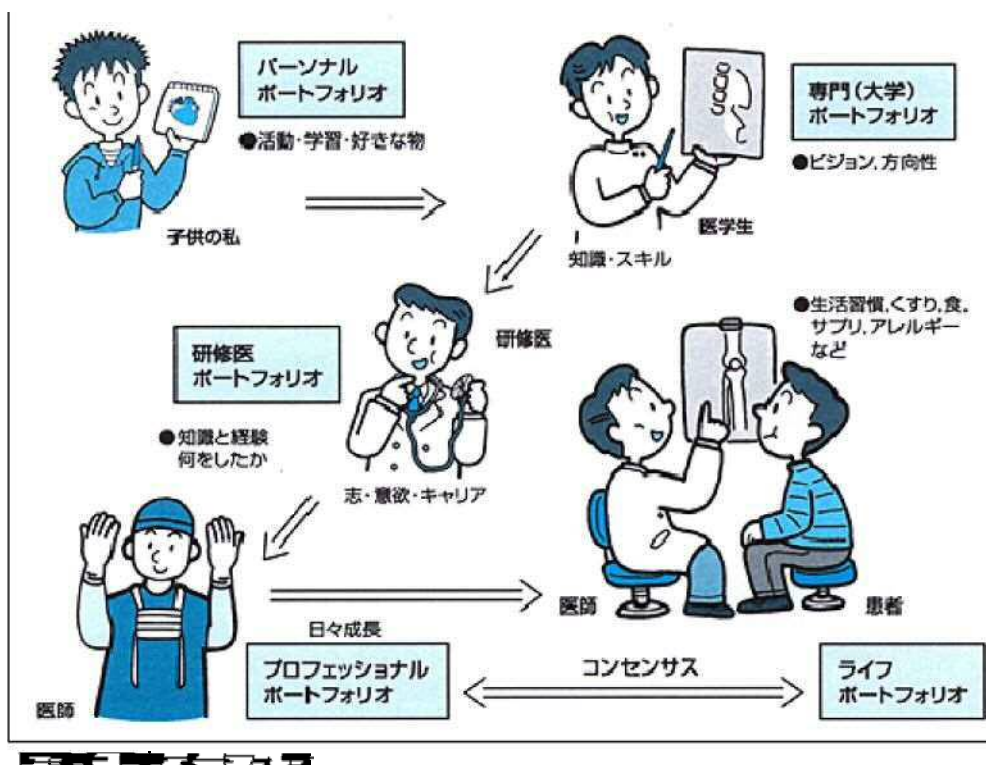
1. 概要

1-1. ポートフォリオとは

ポートフォリオとは、そもそも建築家やジャーナリストなどが、これまでの仕事や活動の成果を自らの意志で1冊にファイルしたものです。ポートフォリオを見ると、その人の個性や能力、潜在的素養、そしてポリシーや将来の可能性などを発見することができます。このようなファイルを「パーソナル・ポートフォリオ」と呼びます。



- ・ポートフォリオは、日々成長している「自分を発見」できるもの
 - ・ポートフォリオ、それは学びの「基軸」、成長の「記録」
 - ・ポートフォリオ、それは何より「自分の意志」で未来を開くための切り札
- (一級建築士：鈴木敏恵 先生 HP より引用)



1-2. 「桜ヶ丘 e-ポートフォリオ」の特徴

桜ヶ丘キャンパスでは、医療系学習者専用の独自の e-ポートフォリオを運営し、前記のような自己学習支援を行っています。ポートフォリオでは「自己学習目標の設定と評価」「授業のふりかえり」を通じて、各学科で必要とされる教育到達目標の達成度を自己管理できます。レポートや写真等の「学習成果物」の保存も可能です。加えて医療系学習者のための、症例登録、診療評価等の機能が充実しています。

2. ログイン方法

2-1. キャンパスネットから利用する

鹿児島大学医学部ホームページ（<http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp>）を開きます。

（検索キーワード「kufm」でGoogle検索すると、簡単に見つけることができます。）

「医学科」ページの「在学生の方へ」の中に、「Moodle(e-Learning)」と「e-ポートフォリオ」のリンクがあります。

地域の健康や福祉の増進のために貢献する

ENGLISH JAPANESE

鹿児島大学医学部
KAGOSHIMA UNIVERSITY Faculty of Medicine

HOME 学部長の挨拶 医学部について 交通アクセス お問い合わせ

医師を目指す方
医学科

看護師・理学療法士
作業療法士を目指す方
保健学科

鹿児島大学医学部医学科
Department of Medicine, Kagoshima University School of Medicine

ENGLISH JAPANESE

お問い合わせ 交通アクセス キャンパスMAP

医学科では活力にあふれた皆さんのチャレンジをお待ちしています

HOME 医学科の概要 医学科の教育 医師育成へのご支援

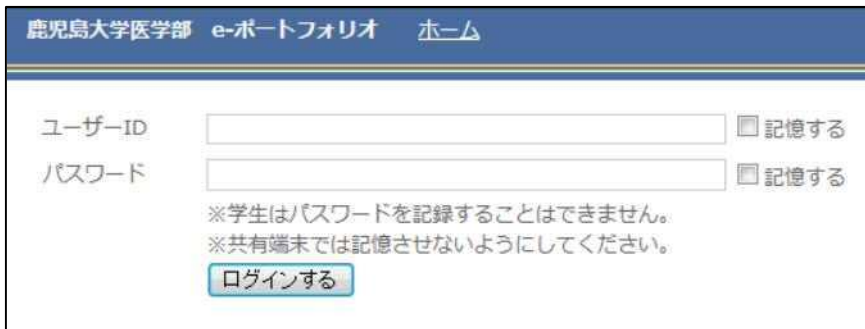
入学を希望される方へ 在学生の方へ 教職員の方へ 一般の方へ

シラバス検索 桜ヶ丘Moodle 桜ヶ丘e-ポートフォリオ

国家試験情報について その他のWEBサービス 医学部学生安全マニュアル

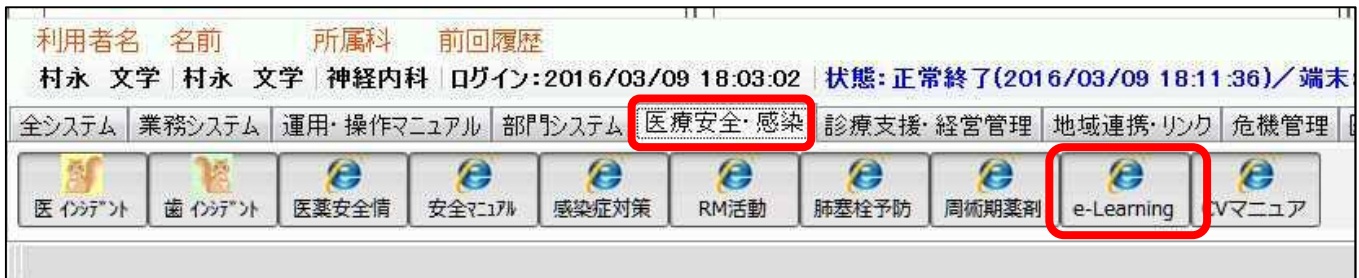
医学科のお知らせ 一覧へ 各分野のご紹介

e-ポートフォリオのログイン画面が表示されたら、「桜ヶ丘 e-Learning・IT Karte 共通 ID」でログインします。
(ID を取得していない方は、医歯学教育開発センターまで問い合わせてください。)
なお、学生 ID ではパスワードをパソコンに記憶することはできません。



2-2. 病院情報システム「THINK」から利用する。

「医療安全・感染」タブの中に「e-Learning」ボタンをクリックします。



Moodle システムの画面右のメインメニューの下側にある、「桜ヶ丘 e-ポートフォリオ」をクリックします。



ポートフォリオのトップ画面が開きます。「ログイン」からログインしてください。

鹿児島大学医学部・歯学部 e-ポートフォリオ ログイン

鹿児島大学医学部・歯学部 e-ポートフォリオ へようこそ!

■このシステムでできること

- 学習者(利用の対象となる学生)

以下のポートフォリオに登録して教育到達目標と達成状況を確認することができます。

- ・ふりがえり：授業科目に対する学習の記録
- ・学習成果物：授業科目で作成した成果物(ファイル)

ログイン直後のメニュー画面は、職種によって異なります。

ログイン後のメニュー（学生の場合）

鹿児島大学医学部・歯学部 e-ポートフォリオ [医学科] : 医学生 テスト ログアウト

Top 教育到達目標の達成状況 自己学習目標 ふりがえり 学習成果物 症例報告 臨床評価 個人設定 moodle

学習者メニュー

各メニューから、教育到達目標の達成状況やポートフォリオの登録をすることができます。

教育到達目標の達成状況	卒業までの【教育到達目標】を確認することができます。指導者が認証することで、達成状況が変化します。
自己学習目標	教育到達目標を考慮した、卒業までの【自己学習目標】を登録することができます。指導者にアクセスキーを開示することで、内容の確認とフィードバックを書き込む権限を付与することができます。
ふりがえり	授業科目に対する学習の記録である【ふりがえり】を登録することができます。指導者が関連付けられている【教育到達目標】を認証することで、達成状況に反映されます。また、授業科目を担当する指導者からのフィードバックを確認することができます。
学習成果物	授業科目で作成した【学習成果物】(ファイル)を登録することができます。
症例報告	臨床実習時におこった症候、疾患、経験した手技等の症例を登録することができます。
臨床評価	臨床実習の各評価項目に対する自己評価と教員評価を登録することができます。
個人設定	パスワードを確認・変更することができます。また、指導者に開示するためのアクセスキーを確認することができます。指導者には、ユーザーIDとアクセスキーの双方を開示してください。
moodle	e-learningのサイトへアクセスすることができます。
オンラインツール	オフラインの状態で学習成果物を管理するためのツールを起動します。

教員の場合（教員の場合） 教員の操作については第4章（22ページ）にあります。

鹿児島大学医学部・歯学部 e-ポートフォリオ ログアウト

Top 担当授業科目 担当実習科目 助言指導学生 個人設定

指導者メニュー

各メニューから、学習者が登録したポートフォリオの確認やフィードバックの書き込みをすることができます。フィードバックの書き込みにより、学習者に対するアドバイスや評価のやりとりをすることができるようになります。

担当授業科目	担当する授業科目を選択して、学習者が作成した【ふりがえり】の登録状況を確認することができます。参照できる【ふりがえり】には、達成した教育到達目標の承認・却下を行うことができます。また、フィードバックを書き込むことができます。
担当実習科目	担当する実習科目を選択して、学習者が作成した【臨床評価】の実習自己評価登録状況を確認することができます。また、教員評価を書き込むことができます。
担当学生－学生一覧	担当学生の【教育到達目標】【自己学習目標】【ふりがえり】【症例報告】【臨床評価】を参照することができます。参照できる【ふりがえり】には、達成した教育到達目標の承認・却下を行うことができます。参照できる【自己学習目標】【ふりがえり】には、フィードバックを書き込むことができます。参照できる【臨床評価】には、教員評価を行うことができます。
担当学生－アクセスキー	学習者から開示されたアクセスキーの管理をすることができます。ユーザーIDとアクセスキーを登録すると、その学習者の【自己学習目標】を参照できるようになります。
個人設定	パスワードを確認・変更することができます。

4. 指導者が利用できる機能について

4-1. 指導者トップメニュー

指導者でログインすると下記メニューが表示されます。



担当授業科目：担当された授業のふりかえりの確認と教育到達目標の承認、フィードバックの登録を行います。

担当実習科目：実習科目担当の教員は、該当する学生の症例登録を閲覧することで、各学生の臨床実習の進捗状況を確認することができます。

助言指導学生：助言指導教員となっている学生から「アクセスキー」の開示を受けて、担当する学生のポートフォリオを閲覧し、フィードバックを行えます。

個人設定：パスワードやメールアドレス等の変更を行います。

4-2. 担当授業科目のふりかえり評価

学生が、担当された授業について「ふりかえり」を登録します。

下記画面の最下段（次ページ）に、教員の操作ボタンがあります。

No.	実施日	授業科目	内容	Phase		
				Phase1	Phase2	Phase3
2a			常に利他的な態度を示し、心理社会背景を含む患者の抱える問題を包括的に理解して支援し、患者を尊重した医療の推進ができる	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2b			患者から情報収集を行い、データを解釈して頻度の高い疾患の診断を行い、診療方針を計画することができる	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2c			医療チームのメンバーと互いを尊重したコミュニケーションを図り、チームの機能を高めるためにリーダー及びメンバーとしての自分の役割を果たして、安全に医療を実施できる。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3a			地域医療に参加し、基本的な初期診療を実施できる	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3b			離島・へき地を含む地域医療、先端医療、保健・福祉制度のそれぞれの機能と連携を理解し、医師の果たす役割を自覚し、行動できる	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3c			医療資源の適切な分配をふまえた倫理的な最善の選択ができる	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3d			個人、家族、地域、文化圏、国際社会における疾患と医療の多様性を理解し、最新の情報に基づく適切な対応ができる	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

教員は、学生が入力した教育到達目標の達成度について、承認を行う必要があります。

必要に応じて、フィードバックを入力し、「追加する」ボタンで登録して下さい。

(フィードバックの入力は必須ではありません。学生のふりかえり登録の動機にも繋がりますので、可能な限りフィードバックの登録をお願いします。)

ふりかえり項目

ふりかえり

血圧の測定という簡単な手技でも、正確に測定するのはとても難しく、医師になり、医療行為を行うには、自分自身の手技習得への努力がとても大事だと気づいた。また、血圧の測定には、わかりし解剖学・生理学の知識が必要で今まで習ったことが生かされているな、と感じた。血圧の測定に限らず、これから学んでいく医療行為も今習っていることがもたになっていくと思うので、ちゃんと勉強に励みたいです。

救急蘇生の方法は今まで何となくわかっている程度だったが、今回の実習で救急蘇生のポイントをおさえることができたとと思う。医学生としていつでも行えるように復習をおこなうようにしようと思う。

- 学びとったこと
- 体験に基づく気づき
- 自己評価
- 自己の学習目標
- 学習計画

内容

Phase1 認 証 Phase2 認 証 Phase3 認 証

内容	Phase1 認 証	Phase2 認 証	Phase3 認 証
2a 常に利他的な態度を示し、心理社会背景を含む患者の抱える問題を包括的に理解して支援し、患者を尊重した医療の推進ができる	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2b1 患者から情報収集を行い、データを解釈して頻度の高い疾患の診断を行い、診療方針を計画することができる	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2c 医療チームのメンバーと互いを尊重したコミュニケーションを回り、チームの機能を高めるためにリーダー及びメンバーとしての自分の役割を果たして、安全に医療を実践できる。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3a 地域医療に参加し、基本的な初期診療を実施できる	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3b 離島・へき地を含む地域医療、先端医療、保健・福祉制度のそれぞれの機能と連携を理解し、医師の果たす役割を自覚し、行動できる	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3c 医療資源の適切な分配をふまえた倫理的な最善の選択ができる	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3d 個人、家族、地域、文化圏、国際社会における疾患と医療の多様性を理解し、最新の情報に基づく適切な対応ができる	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

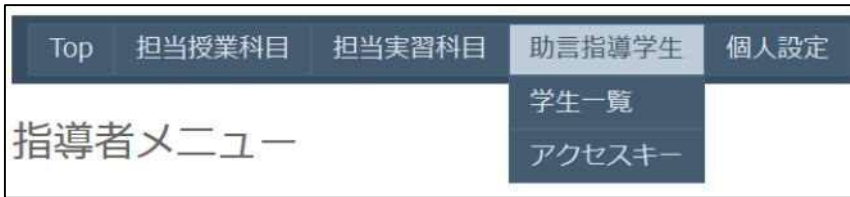
達成した教育到達目標

教員のフィードバック

更新日	氏名	内容
2012/01/10	田川 まさみ	血圧も救急蘇生も一般の人が行える手技ですが、医学生として実施することは違う意味を持ちます。今回の経験を医学生としての自覚につなげてください。

4-3. 助言指導学生の管理・評価 (アクセスキーを学生から提示されたら)

学生があらかじめ登録されている助言指導教員や、学生が特に指導を希望して閲覧のための「アクセスキー」を開示された指導者は、学生のポートフォリオを閲覧し、フィードバックを入力することができます。



「担当学生」メニュー内の「アクセスキー」メニューを選択すると、以下の画面が表示されます。学生のIDと、アクセスキーを入力し、「追加」ボタンをクリックして下さい。

アクセスキー

ユーザーID: 12345678 アクセスキー: key1234 追加

登録日	ユーザーID	氏名
2015/05/15	99999991	看護G Pテスト学生
2017/08/03	10101002	医学生 テスト

学生のユーザーIDとアクセスキーが一致した場合は、担当学生メニューの「学生一覧」から、学生の「教育到達目標の達成度」「自己学習目標」「(授業の)ふりかえり」「症例報告」「臨床評価」等を参照し、フィードバックを返すことが可能となります。

学生一覧

入学年度	学科(専攻)	学籍番号	氏名	プロフィール	教育到達目標	自己学習目標	ふりかえり	症例報告	臨床評価
2012	医学科	20101002	医学生 テスト	参照	参照 評価	参照	参照	参照	参照
2015	Ns教育ADC	99999991	看護G Pテスト学生	参照	参照 評価	参照	参照	参照	参照

一部のフィードバック等では、学生が授業担当の教員のみ閲覧を許可している場合がありますので、その点をご理解下さい。

以下の画面は、「自己学習目標」を参照した例となります。

最下段に、フィードバックを追加する枠があります。コメント入力後、「追加する」ボタンをクリックして下さい。

鹿児島大学医学部 e-ポートフォリオ 10200001 : 教員 1-1 ログアウト

自己学習目標 10100001 : 医学2年 テスト

No. 3 記載日: 2012/02/22 更新日: 2012/02/22

自己の目標
心肺停止の患者に適切な初期対応ができるようになる。

目標達成計画
5年生のボリクリ前までに達成したい。

達成した教育到達目標

自己評価
評価日: 達成度:

未修得 習得

教員のフィードバック
救急病院で見学実習してはどうでしょうか。学生が見学可能なところを紹介いたします。また年度、5年生を対象に02月講座を0月0日に行いますので、興味があれば見学してください。

追加する

(参考)

下記画面はシステム管理者用の実習科目メンテナンス画面です。下記のように2013年入学のM3シャドウイングに指導者として関連付けられた指導者は、2013年度入学のM3の学生全員の症例報告が閲覧できます。これは実習に来た学生の臨床実習経験を確認することで、今後の臨床実習の担当患者の調整を円滑に行えるようにするためです。

実習科目

状態 有効

入学年度 2013

学科 医学科 看護学 理学療法学 作業療法学 歯学科

学年 1 2 3 4 5 6

ソート順 1

名称 シャドウイング

関連付けられている指導者 関連付けられている責任者

ユーザーID	漢字氏名	
12824632		--
12169320		--
12682379		--
15437631		--
16821927		--
17354615		--
12881833		--
16569096		--
14509001		--
17248679		--
17524032		--
10734865		--
19087085		--
18064816		--

4-4. 症例報告の閲覧（指導者）について

「担当実習科目」メニューをクリックします。

入学年度と臨床実習科目を選択します。（指導者として関連付けられたものしか表示されません。）

（臨床実習担当者なのに、実習科目が表示されない場合は、教育開発センターにお問い合わせください。）

Top 担当授業科目 **担当実習科目** 助言指導学生 個人設定

臨床実習評価一覧

2013 年度 2013年度入学 医学科 3学年 シャドウイング

※実習科目選択後は、絞り込みボタンをクリックしてください。
※検索結果を絞り込む場合は、条件を設定後に絞り込みボタンをクリックしてください。

教員評価状態 全て 未実施 実施済み

グループ:

学籍番号: 氏名:

学生の名前が一覧されます。一番右にある「(症例報告)」をクリックします。

臨床実習評価一覧

2013 年度 2013年度入学 医学科 3学年 シャドウイング

※実習科目選択後は、絞り込みボタンをクリックしてください。
※検索結果を絞り込む場合は、条件を設定後に絞り込みボタンをクリックしてください。

教員評価状態 全て 未実施 実施済み

グループ:

学籍番号: 氏名:

自己評価日	学籍番号	学籍者氏名	実習開始日	実習終了日	グループ	ローテーション名	教員評価	教員評価日	臨床実習	症例報告
	12015001	テスト 3年生				シャドウイング	未実施		- (グラフ)	(症例報告)

各学生単位に、「症候別」「疾患別」「手技別」にどれぐらいの経験を積んでいるか、確認できます。

個別のレポートの内容は、「参照」で確認できます。

Top 担当授業科目 担当実習科目 助言指導学生 個人設定

臨床実習時の症例報告一覧 ([症候別一覧](#) [疾患別一覧](#) [手技別一覧](#))

No	診断	記載日	更新日	
1	感染性腸炎	2015/09/17	2015/09/17	参照

（「症候別」「疾患別」「手技別」の画面は、学生の画面と同じデザインです。）

4-5. 臨床評価画面

臨床実習の評価は、その診療科に登録されている複数の評価者が評価の上書き・追記ができるようになってい
ます。学生の指導に当たった様々な立場の指導者、教員が協力して評価を入力できるシステムとなっています。

「担当実習科目」メニューをクリックします。入学年度と科目を選択し、「絞り込み」をクリックします。
学生の一覧が表示されるので、「参照」をクリックすると、臨床評価（学生の自己評価）を閲覧できます。

（学生が自己評価を入力していない場合には、「作成」と表示されます。）

鹿児島大学医学部・歯学部 e-ポートフォリオ 99990001 : 研修教員 0 1 ログアウト

Top 担当授業科目 **担当実習科目** 担当指導学生 個人設定

臨床実習評価一覧

(未選択) 年度 2014年度入学 医学科 2学年 #操作研修用2#

※実習科目選択後は、絞り込みボタンをクリックしてください。
※検索結果を絞り込む場合は、条件を設定後に絞り込みボタンをクリックしてください。

教員評価状態 全て 未実施 実施済み

グループ:

学籍番号: 氏名:

自己評価日	学籍番号	学習者氏名	実習開始日	実習終了日	グループ	ローテーション名	教員評価	教員評価日	臨床実習	症例報告
2016/02/23	41000012	研修学生 1 2	2016/02/01	2016/02/03	b	#操作研修用 2 #	実施済み	2016/02/23	参照 (グラフ)	(症例報告)
2016/02/23	41000022	研修学生 2 2	2016/02/07	2016/02/12	a	#操作研修用 2 #	未実施		参照 (グラフ)	(症例報告)
2016/02/19	42000040	研修学生 4 0	2016/02/01	2016/02/02	a	#操作研修用 2 #	実施済み	2016/02/19	参照 (グラフ)	(症例報告)
	41000001	研修学生 0 1				#操作研修用 2 #	未実施		作成 (グラフ)	(症例報告)
	41000002	研修学生 0 2				#操作研修用 2 #	未実施		作成 (グラフ)	(症例報告)

学生の自己評価が入力されている場合は（「参照」をクリックした場合）、

最初に学生の自己評価結果が表示されます。画面右にある「教員評価へ」をクリックして下さい。

一覧に戻る 前へ 次へ 削除する

[教員評価へ](#)

臨床実習評価表(学生自己評価)

88881501 : テスト 3年生

No. 1

ローテーション名: シャドウイング

Group・医療機関: 大学病院

実習期間: 2015/09/28 ~ 2015/10/02 欠席: 0 日 遅刻: 0 日

評価項目	1	2	3	4	5	6
1 責任ある行動、倫理的対応、医療安全	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

教員評価画面が開きます。

(学生が自己評価を入力していない場合は「作成」となっていますので、そこをクリックすると、いきなり教員評価の画面になります。)

下記の↓で示すように、各項目の左側に学生の自己評価結果が表示されます。

それを参考に、教員の評価を入力してください。

入力が終わりましたが、画面左上にある「保存する」ボタンをクリックしてください。

一覧に戻る 保存する 前へ 次へ 削除する

各評価項目の左側にあるチェックボックスは、学生による自己評価内容になります。
評価編集中に一覧に戻るボタン、前へボタン、次へボタン、学生自己評価へボタンをクリックした場合、編集中の内容は元に戻ります。
必要な編集内容は保存してください。

[学生自己評価へ](#)

臨床実習評価表(教員)

88891501 : テスト 3年生

No. 1 ローテーション名: 評価日:

Group・医療機関:

実習期間: ~ 欠席: 日 遅刻: 日

指導医氏名: 責任者氏名:

評価項目	1	2	3	4	5	6
1 責任ある行動、倫理的対応、医療安全 <small>医学生としての義務・責任を担った実習者として病棟・医療立 全に配慮した行動をとる 2bii 2d 3cd</small>	<input type="checkbox"/> <small>欠席、遅刻、倫理 ルール、制度上の規 章行動</small>	<input type="checkbox"/> <small>遅刻なし</small>	<input type="checkbox"/> <small>医学生として認めれ る行動</small>	<input type="checkbox"/> <small>医学生として優れた 行動</small>	<input checked="" type="checkbox"/> <small>医学生として非常に 優れた行動</small>	<input type="checkbox"/> <small>評価対象外</small>
2 医学的知識：臨床推論、判断、病態・原理 の理解 <small>患者診療の症例提示や質疑、カレッジ動画において、医学的知識 を活用し、状況をふまえた診断や治療計画立案を行う 1a 1b 1c 2b</small>	<input type="checkbox"/> <small>明らか知識の不足</small>	<input type="checkbox"/> <small>基本的知識がある取 扱った情報を記述す る</small>	<input type="checkbox"/> <small>基本的病状、疾患の 診断と治療計画立案 ができる</small>	<input type="checkbox"/> <small>優れた症例提示状況 をふまえた診断と治 療計画立案ができる</small>	<input checked="" type="checkbox"/> <small>状況を踏まえた診断 と治療計画立案、評 価ができる</small>	<input type="checkbox"/> <small>評価対象外</small>

注意：学生が自己評価を入力する前に、教員が評価を入力すると、学生は以後入力できなくなります。
学生には実習の最終日前までに、自己評価を入力するように指示しておりますが、可能であれば、
学生に自己評価を入力するように、促してください。

4-6. 臨床評価の分析

他科の入力分も含めて、臨床実習評価の結果をグラフで閲覧できます。各科のコメントも閲覧できます。

Top
担当授業科目
担当実習科目
助言指導学生
個人設定

臨床実習評価一覧

(未選択) 年度 2014年度入学 医学科 2学年 #操作研修用2#

※実習科目選択後は、絞り込みボタンをクリックしてください。
 ※検索結果を絞り込む場合は、条件を設定後に絞り込みボタンをクリックしてください。

教員評価状態 全て 未実施 実施済み

グループ:

学籍番号: 氏名:

自己評価日	学籍番号	学習者氏名	実習開始日	実習終了日	グループ	ローテーション名	教員評価	教員評価日	臨床実習	症例報告
2016/02/23	41000012	研修学生 1 2	2016/02/01	2016/02/03	b	#操作研修用 2 #	実施済み	2016/02/23	参照 (グラフ)	(症例報告)
2016/02/23	41000022	研修学生 2 2	2016/02/07	2016/02/12	a	#操作研修用 2 #	未実施		参照 (グラフ)	(症例報告)



各科で入力した評価の結果をグラフで分析できます。下段に学生のコメント、指導者のコメントも一覧できます。

一覧に戻る

臨床実習評価グラフ

学籍番号: 氏名:

責任ある行動、倫理的対応、医療安全

基本的臨床手技：検査手技、治療手技

フリー評価

医学的知識：臨床推論、判断、病態・原理の理解

チーム医療：チーム内での役割、多職種との連携

(学生)総合評価

コミュニケーション・対人関係

自学自習、問題解決

総合評価

患者の身体診察

全て選択
全て解除
表示を更新

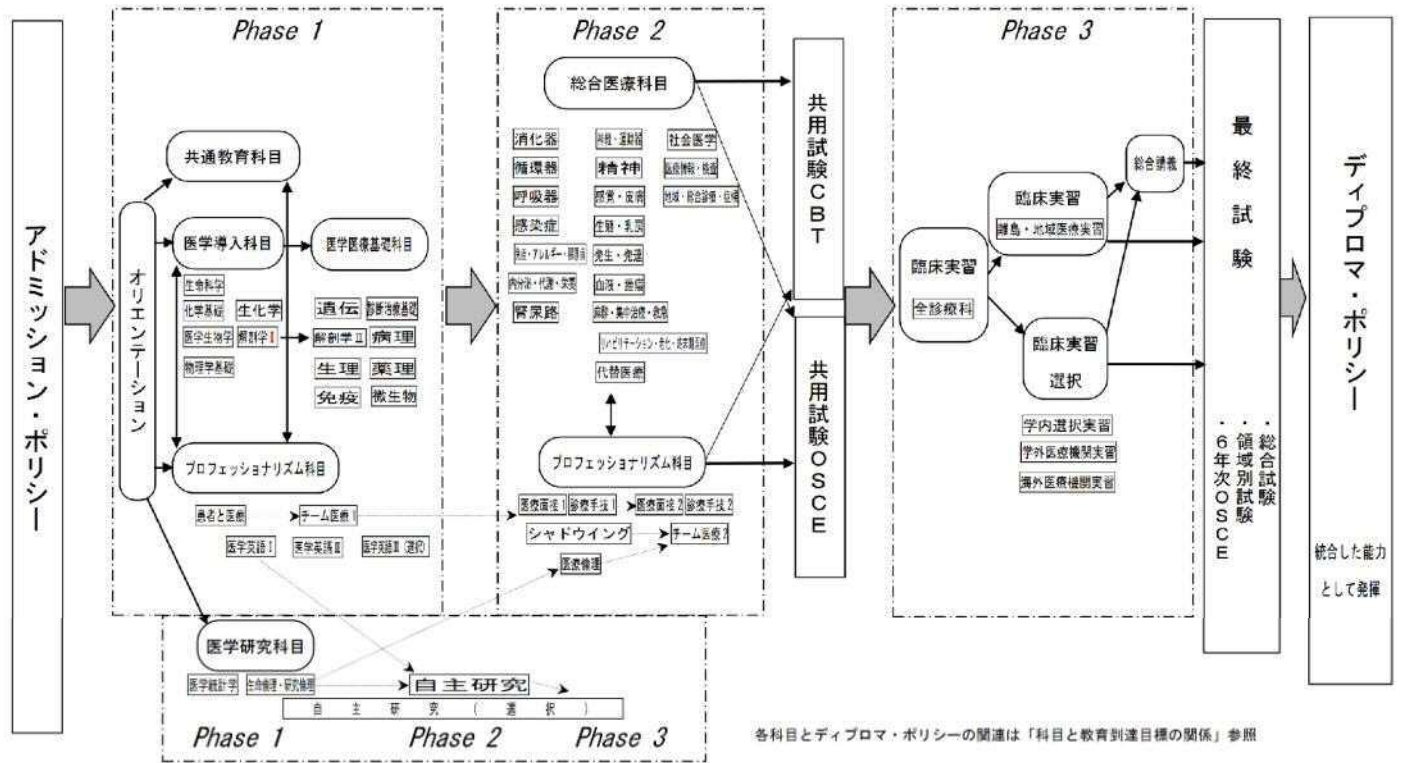
ローテーション

ローテーション	学生コメント	教員コメント
心臓血管内科		自主的に学習しコミュニケーション能力も高かった。
二外科		真面目に参加していました。高く評価します。
放射線科	画像診断においても、明確な根拠を持って臓器の同定、診断を行っていくことが重要であることを学んだ。感覚的、経験的に臓器の同定を行っているだけだと、個人差に対応することができず、三叉に繋がりがわからないことを学んだ。	実習には積極的に参加していた。基礎的事項もよく理解していた。
泌尿器科	泌尿器科の担当している疾患が非常に幅広く、またQOLに大きく関わる疾患であることを認識できた	これから頑張ってください
消化器内科・腎臓内科	胸部診察はこれまで比較的やったが、腹部診察はまだ不十分で練習が必要だと思った。	鑑別診断を適切にあげ、評価できていたと思います。
一外科	手を怪我して手術に入れなかったのが残念だった	怪我で手術に入れなかったが、積極的に実習に参加した。ポリクリ中に十分に学べなかった分、外科研修に来てください。
神経科精神科	精神科の疾患概念、定義について曖昧な理解しか出来ていないことを自覚した。また、神経内科的、脳外科的、また内科的な疾患の患者も多く、そういった疾患との鑑別や関連について整理する必要がある。精神科の具体的な診療内容を知ることが	進行性機上性麻痺についてよく調べており、本患者の考察もしっかりできていました。

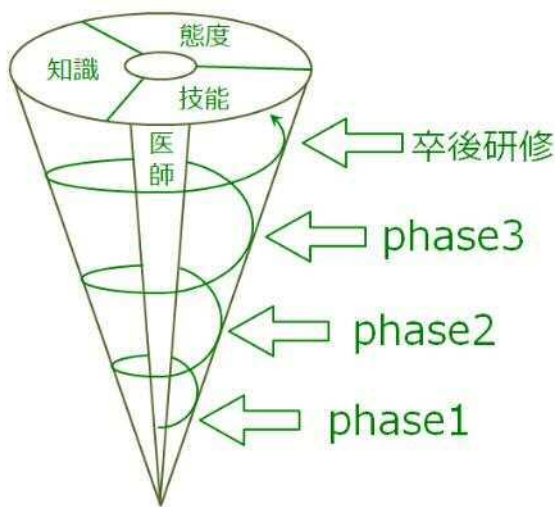
4-7. 教育到達目標の達成度の総合評価機能（運用方法については未定です。）

1) 概要

鹿児島大学医学部医学科では、アウトカム基盤型教育を推進し、学生の教育到達目標（期待するアウトカム）の確実な修得を可能にするために、医学教育カリキュラムにおいて、下記に示すような3つの phase と中間の目標となるマイルストーンを提示し科目の再編を行っています。



Dreyfus らが提示した専門職の発達過程（新人→ 初心者→ コンピテントな専門家→ プロフェッショナルな専門家→ 卓越した専門家）を参考に、医学教育で推奨されているらせん型カリキュラムの特徴を備えた一貫教育として設計し、カリキュラム運営と、個々の学生の達成度を評価し学習を支援する体制を整備しつつあります。



【Phase 1 入学時より3年前期まで】	
医学医療を学問する基礎形成	L: 共通教育科目・基礎教育科目 A: 医学導入科目 B: プロフェッショナリズムI C: 医学研究科目I (総論I) E: 医学医療基礎 (概論と概論、反応) F: 医学医療基礎 (病因、病態、診断立案)
【Phase 2 3年前期より臨床実習前まで】	
臨床へ応用できる幅広い能力の育成	G: 総合医療科目 H: プロフェッショナリズムII C: 医学研究科目II (自主研究)
【Phase 3 臨床実習、総合医療、自主研究 (4年)】	
医学生としての実践的総合能力の修得	CC1: 臨床実習 CC2: 選択実習 C: 医学研究科目II (自主研究)
Phase 3では、教育到達目標に掲げられた能力を学習目標として臨床現場で実習します。Phase 1, 2では教育到達目標と直接に関連した形相および中層レベルの能力を学習目標として学びます。これらの学習目標は、卒業に至る長い道のりの過程「マイルストーン」となります。	

具体的な評価方法については、医学部医学科ホームページの「医学科の教育」で明示しています。桜ヶ丘 e-ポートフォリオでは、各フェーズの終了時に、学生の教育到達目標の達成度について総合評価する機能を試験実装しています。（なお2018年2月時点では、運用の詳細については未定になっています。）

2) 教育到達目標の達成度評価の登録

2018年2月時点では、助言指導学生メニューから起動できる「学生一覧」画面に、「評価」を登録する画面へ遷移するためのリンクが設定されています。

鹿児島大学医学部・歯学部 e-ポートフォリオ ログアウト

Top 担当授業科目 担当実習科目 助言指導学生 個人設定

指導者メニュー

- 学生一覧
- アクセスキー

学生一覧



入学年度	学科(専攻)	学籍番号	氏名	プロフィール	教育到達目標	自己学習目標	ふりかえり	症例報告	臨床評価
2012	医学科	20101002	医学生 テスト	参照	参照 評価	参照	参照	参照	参照
2015	Ns教育ADC	99999991	看護 G P テスト学生	参照	参照 評価	参照	参照	参照	参照

教育到達目標の達成状況（評価一覧）画面では、教育到達目標毎・フェーズ毎に、評価を登録できます。基本的には「(未)」と表示されている所をクリックし、次ページに示す画面で、個々の評価入力を行います。（下図の矢印1）



フェーズ毎に一括して、全ての教育到達目標の評価を入力可能な画面も準備しています。（下図の矢印2）

[一覧に戻る](#)

教育到達目標の達成状況（実績一覧 評価一覧）

学籍番号：20101002 氏名：医学生 テスト

コード	内容	評価（一括）		
		Phase1	Phase2	Phase3
1	医学、医療、それに関連する自然科学、人文・社会科学の知識を習得して、実践に活用することができる。	-	-	-
1a	知識を実践に応用することができる	常に(修了)	優	S
1b	学問大系、専門領域を超えて、幅広い知識を医学、医療に活用することができる	度々	良	A
1c	必要とする最新の情報を収集し、適切に選択して活用することができる	時々	可	B
2	基本的臨床能力を有し、患者中心のチーム医療を熱意と責任を持って安全に実施できる	-	-	-
2a	常に利他的な態度を示し、心理社会背景を含む患者の抱える問題を包括的に理解して支援し、患者を尊重した医療の推進ができる	常に(修了)	不可	A
2b	基本的診療手技とコミュニケーション技能を身につけ、患者ならびにその家族と良好な対人関係を築いて診療を行うことができる	常に(修了)	優	(未)
2bi	患者から情報収集を行い、データを解釈して頻度の高い疾患の診断を行い、診療方針を計画することができ	常に(修了)	良	(未)

下図は、個々の教育到達目標の達成度の評価を登録する画面です。

評価の達成度と評価日を入力し、矢印1に示す「追加する」ボタンをクリックします。

評価の履歴も残ります。(矢印2)

画面の下半分は、評価の参考資料になります。各教育到達目標に関連する「自己学習目標 (の自己評価内容)」、「(授業の) ふりかえり」、「学習成果物」、「症例登録」、「臨床実習評価」、「臨床実習評価グラフ」、を閲覧可能です。

評価の追加を行ったら、必ず「保存する」ボタンをクリックしてください。(矢印3)

一覧に戻る
保存する 

教育到達目標の評価 (個別)

10101002 : 医学生 テスト
Phase1

教育到達目標 1a 知識を実践に活用することができる

学習目標
1. 人体の構造、機能、発達、老化、精神機能を理解し、病態、症候の機序を説明できる
2. 病理、病原体、薬理、生体に影響を及ぼす物理的、環境因子を理解し、症候、疾病の検査、治療、予防の原則、応用を説明できる

評価
達成度 時々 度々 常に(修了)

評価日

コメント


追加する

No	達成度	評価日	評価者	コメント	
1	常に(修了)	2017/08/04	██████	面談した結果、phase1における基礎的な知識は習得していることを確認しました。	編集 

関連する記録・成績の入力状況 (このPhaseの教育到達目標を含む記録・成果物)

自己学習目標

記載日	自己の目標	
2017/08/04	苦手な組織学を克服する	参照

ふりかえり

授業日	授業科目	テーマ	
2017/04/30	選択実習2 (必修選択)	消化器内科臨床実習のふりかえり	参照
2014/06/09	(共通教育) 情報活用基礎	ふりかえり入力確認	参照

学習成果物

実施日	授業科目	テーマ	
2017/04/30	選択実習2 (必修選択)	選択実習2 (消化器内科) 実習レポート	参照
2014/04/21	病理	胃がん	参照

参考リンク

[症例報告](#)
[臨床実習評価](#)
[臨床実習評価グラフ](#)

5. お問い合わせ

登録申請、取扱い	医歯学教育開発センター	099-275-6869
大学院科目等	学務課医歯学大学院係	099-275-5120
学部科目等	医歯学教育開発センター	099-275-6869